

群馬県水泳連盟のあゆみ

**「10年間の記録」**

平成18年～平成28年

2006 ▶ 2016

# 群馬県水泳連盟のあゆみ

## 2006 (平成 18年)

4/15、平成 17 年度会計監査 (午前)、午後より新役員 (18 年・19 年・20 年度) による県水連総会が開かれる。

(齊藤氏副会長退任) 今回の任期改選では、他団体との任期改選期間を合わせるため 3 年間の任期とした。

北関東水泳大会が栃木県小山市で開催される。(総合成績 2 位)

平成 18 年度全国高等学校水泳選手権大会水球競技優勝 (前橋商業)、第 61 回国民体育大会水球競技優勝 (群馬県チーム) 2 冠達成。飛込競技についても国体初優勝を収める。水球及び飛込競技の活躍もあり第 61 回国民体育大会天皇杯得点 7 位となる。

アメリカフラッグスタッフ (高地合宿) で 6 年間 (5 回) に渡り実施してきた海外合宿が本年度より韓国済州島での実施となる。

済州島水泳連盟強化プール (室内 50 m) が練習会場となるが水温及び施設設備の環境が悪く故障者続出。

群馬・長野・山梨三県対抗水泳大会が本県で開催される。(大渡プール) 総合成績第 2 位、関東地域ジュニア選手研修合宿 (敷島公園プール)、関東地区地域指導者委員長会議 (渋川伊香保) が本県担当で開催される。

日本水泳連盟有功賞古瀬治夫氏受賞、県体育協会スポーツ功労賞田島正氏受賞、読売群馬スポーツ大賞及び第 32 回上毛スポーツ賞前橋商業高校水球部受賞、第 4 回ジュニア上毛スポーツ賞池田翔受賞。

福田智代 (平成 18 年度全国高等学校総合体育大会兼第 74 回日本高等学校選手権水泳競技大会 100 m・200 m 背泳ぎ優勝)、池田翔 (平成 18 年度全国中学校総合体育大会水泳競技大会 200 m・400 m 自由形優勝)、村上和基 (第 61 回国民体育大会水泳競技飛板飛込・高飛込優勝)、群馬ジュニア水球第 28 回全国 JOC ジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会 B 区分 (中学生男子) 優勝。

元理事長池谷君夫氏逝去、元前橋商業水球部監督田島正氏逝去。



平成 18 年 韓国済州島合宿



平成 18 年 前商水球部 全国高校水泳選手権大会 水球競技優勝

## 2007 (平成 19年)

4/14、平成 18 年度会計監査 (午前)、午後より県水連総会が開かれる。

第 42 関東地域春季水泳競技大会 (4/28 ~ 29)、第 50 回北関東水泳競技大会 (6/3・総合 2 位)、第 29 回関東高校選抜関東春季水球大会 (6/16 ~ 17 前橋商業優勝) が敷島公園水泳場にて本県主催で開催される。関東水泳連絡協議会が第 42 関東地域春季水泳競技大会に合わせ本県にて開催される。(4/28)

敷島公園水泳場大会運営室へ県水連備品として製氷機を設置。(7 月)

平成 19 年度全国高等学校水泳選手権大会水球競技優勝 (前橋商業)、第 62 回国民体育大会水球競技優勝。(埼玉県と優勝を分け合う) 2 年連続 2 冠達成。飛込競技も昨年に引き続き第 62 回国民体育大会優勝。第 62 回国民体育大会は秋田県立総合プールで開催され天皇杯得点 140.5 点 6 位の成績を収める。(第 62 回国民体育大会祝賀会実施 12/8: 前橋)

アメリカ (フラッグスタッフ市) 及び韓国 (済州市) の 2 カ所にて県水連海外派遣事業を実施 (競泳) 予定で計画を進めてきたが、秋の台風により韓国合宿については、済州市のプール使用が困難となり急遽韓国慶尚道 (金海市) での実施となる。

公認スポーツ指導員 (水泳) 上級指導員検定実施。(11/22 ~ 24)

日本水泳連盟有功賞田中信宏氏受賞、日本水泳連盟優良団体表彰高崎市受賞、県体育協会スポーツ功労賞古瀬治夫氏受賞、読売群馬スポーツ大賞前橋商業水球部・村上和基受賞 (前橋育英)、第 33 回上毛スポーツ賞正田達成 (綿打中学校)、村上和基 (前橋育英) 受賞。

新潟中越沖地震の発生により新潟県中越を中心にプールの施設、設備に問題が発生した。幸い本県では特に問題なし。

正田達成 (平成 19 年度全国中学校総合体育大会水泳競技大会 200 m 個人メドレー優勝)、福田智代 (平成 19 年度全国高等学校総合体育大会水泳競技大会 200 m 背泳ぎ優勝)、大槻正明 (第 57 回日本実業団水泳競技大会 40 歳以上 50 m 平泳ぎ優勝)、村上和基 (平成 19 年度全国高等学校総合体育大会飛込競技大会飛板飛込・高飛込優勝、第 62 回国民体育大会水泳競技飛板飛込・高飛込優勝)、狩野友昭 2006 年度日本室内選抜飛込競技大会兼国際大会代表選手選考会シンクロナイズド 10 m 高飛込優勝。



平成 19 年 秋田わか杉国体賞状 (天皇杯)



平成 19 年 秋田わか杉国体賞状 (皇后杯)

# 2006-2009

平成18年～平成21年

## 2008 (平成 20 年)

平成 19 年度会計監査 (4/13 午前)、午後より平成 20 年度県水連総会が開かれる。

「群馬県からオリンピック選手を！」合い言葉に 1997 年よりオーストラリアで海外合宿を始めたもののシドニーオリンピック、アテネオリンピックと夢がなわず、しかしながら三度目の正直、アジアで開催される北京オリンピック出場をかけた競泳、飛込、水球の選手がオリンピック選考競技会へ出場、飛込競技の村上和基 (上武大) は残念ながら僅差で代表権を逃したものの、競泳競技において内田翔 (法政大) が 800 m フリーリレー及び 200 m 自由形への出場権を獲得した。6/14 高崎サンパレスにて北京オリンピック日本代表内田翔の壮行会が開催された。

日本高等学校水泳選手権大会水球競技及び国民体育大会水球競技 3 年連続 2 冠達成 (前橋商業水球部) を祝って祝勝会実施。(11/7 前橋: テルサ)

第 84 回日本学生選手権水泳競技大会飛込競技会開催。(敷島水泳場)

第 63 回国体 (大分県) が開催され天皇杯 5 位、新得点方式になってからの最高順位を挙げる。(水球及び飛込については 3 年連続優勝、競泳についても高知国体の 102 点に続く 97 点を獲得)

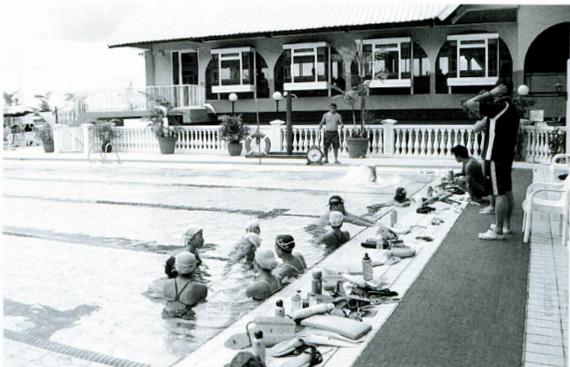
北京オリンピック入賞祝賀会及び第 63 回国体 (大分県) 祝勝会を開催する。(10/13 エテルメ高崎、800 m フリーリレー 7 位入賞)

来年度の任期改選に伴い本年度第 2 回目の県水連総会が開催され平成 21 年度、22 年度の新役員が提案される。(21/3/8)

名誉会長松澤睦氏辞任、副会長岡田昭氏辞任、参与井田喜久夫氏辞任、理事長山田稔氏が副会長へ競泳委員長田中信宏氏が理事長、競泳委員安藤学氏が競泳委員長に就任、小茂田猛氏副理事長へ就任、医科学委員会が発足初代委員長に猪股伸晃氏就任。総会終了後名誉会長松澤睦氏、会長蛭間利雄氏の叙勲祝賀会実施。

群馬県水泳連盟海外派遣事業は競泳 (シンガポール)、水球 (スペイン)、飛込 (上海) の三カ所で行った。

日本水泳連盟優良団体表彰前橋市受賞、県体育協会スポーツ功労者賞小茂田猛氏受賞、読売群馬スポーツ大賞優秀賞内田翔・ジュニアスポーツ大賞受賞前橋商業水球部受賞、第 34 回上毛スポーツ賞天田雄大、田中紀美子・前橋商業水球部、優秀賞内田翔・村上和基が受賞。



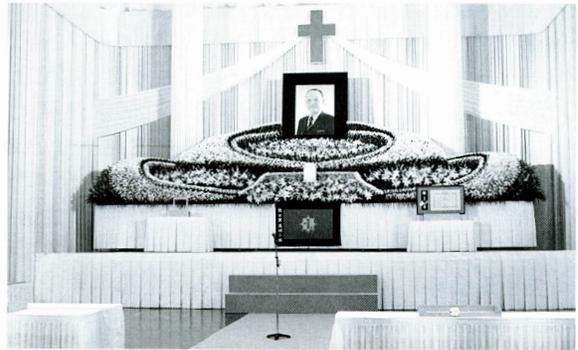
平成 20 年 シンガポール合宿

## 2009 (平成 21 年)

平成 21 年度第 1 回群馬県水泳連盟総会が新体制で実施される。(4/12)

今回の改選では名誉会長松澤睦が辞任、競泳委員長田中信宏氏が理事長へ就任するなど大きな動きがあった。

日本水泳連盟会賓・群馬県水泳連盟名誉会長松澤睦氏ご逝去の悲しい訃報が届いた (9/7)。一方、五十嵐源一氏 (瑞宝双光章)・桑原幸夫氏 (文部科学大臣表彰)・山田稔氏 (群馬県総合表彰・県体育協会スポーツ功労者表彰)・田中信宏氏 (群馬県体育功労者表彰)・設楽登美子氏 (日体協公認スポーツ指導者表彰)・桐生市水泳協会 (日本水泳連盟優良団体表彰) 等、嬉しい受賞報告もあった。



平成 21 年 松澤名誉会長告別式



平成 21 年 3 月 8 日 松澤睦名誉会長・蛭間利雄会長 叙勲祝賀会 (於: ウェルシティ前橋)



平成 21 年 8 月 8 日  
五十嵐源一氏瑞宝双光章の叙勲を祝う会 (菊水にて)

第 13 回世界選手権 (内田翔・福田智代 (競泳)・村上和基 (飛込))・第 25 回ユニバーシアード (内田翔・福田智代・貴田裕美 (競泳)・村上和基 (飛込)・柳瀬彰明 (水球)) 等今年度日本水泳連盟が派遣した大きな海外遠征試合のほぼ全てに群馬県の選手が代表として参加した。

内田翔 (200 m 自由形・800 m リレー)・福田智代 (200

# 群馬県水泳連盟のあゆみ

m個人メドレー)が日本新記録樹立、須永風由子(100m平泳ぎ)日本中学新記録樹立、池田翔(400m自由形)短水路日本高校新記録樹立、内田美希(100m・200m自由形)短水路日本中学校新記録樹立、天田雄大(200m・400m個人メドレー・100mバタフライ・1500m自由形)4種目において日本学童新記録を樹立。

第64回国民体育大会では天皇杯154点5位、皇后杯81点6位となり、飛込は4年連続日本一の好成績を残した。前橋商業水球部は全国高校選手権及び国体4連覇を目標に努力したが、残念ながら全国高校選手権2位・国民体育大会3位の成績に止まった。

内田翔(第13回世界選手権200m自由形・800mリレー4位・第25回ユニバーシアード200m自由形・800mリレー優勝・第35回日本選手権・ジャパンオープン2009年200m自由形優勝・第85回日本学生選手権200m・400m自由形優勝)、福田智代(第64回国民体育大会・ジャパンオープン2009・第85回日本学生選手権200m個人メドレー優勝)、貴田裕美(第25回ユニバーシアード1500m自由形優勝)、大塚一輝(第85回日本学生選手権200m平泳ぎ優勝)、湯本杏(ジャパンオープン2009年50m自由形優勝)、内田美希(第49回全国中学校水泳競技大会・第64回国民体育大会50m自由形優勝)、須永風由子(第6回アジアエイジグループ選手権50m・100m・200m平泳ぎ優勝)、村上和基(第35回日本選手権高飛込優勝・第64回国民体育大会・第85回日本学生選手権高飛込・板飛込優勝)、富山香奈子・倉澤歩(第35回日本選手権シンクロ3m優勝)・志賀光明・星野翼(第6回アジアエイジグループ選手権水球競技優勝)。

## 2010(平成22年)

平成22年度第1回群馬県水泳連盟総会が上毛会館で実施される。(4/11)

役員改選期ではないが飛込委員長野村孝路氏の任期途中での退任に伴い高橋史倫氏(体育協会事業団)が飛込委員長に就任する。

猿谷宝氏(日本水泳連盟有功賞)・前川浩市氏(日本体育協会スポーツ指導者表彰)・伊勢崎市水泳協会(日本水泳連盟優良団体表彰)・野口有利恵氏(県体育協会スポーツ功労者表彰)らが受賞する。

第2回群馬県水泳連盟総会が上毛会館で実施される。(3/16)

来期の(平成23・24年度)任期改選にともない新役員を選出する。長年競技委員長を務めた高井孝雄氏が退任し、新しく須藤文治氏が就任、情報処理委員会・マスターズ部会の新たな設置を見据えて来期より総務委員会の中に情報処理係・マスターズ係を置く。

第65回国民体育大会関東ブロック大会水球競技(県立プール・8/7~8/8)及びシンクロ競技(県立プール・8/5)が群馬県担当で開催される。

アジア競技大会水泳競技(内田翔(競泳)・村上和基(飛込)・柳瀬彰明・志賀光明(水球))・パンパシフィック選手権水泳競技大会(内田翔・貴田裕美・福田智代(競泳))、第1回ユースオリンピック(正田達成)等が日本代表選手として出場した。第65回国民体育大会では天皇杯101.5点

9位、皇后杯74.5点7位と残念ながら天皇杯8位内の成績を収めることは出来なかった。

内田翔(アジア競技大会水泳競技400m・800mリレー2位・パンパシフィック選手権水泳競技大会800mリレー2位)、福田智代(第65回国民体育大会200m個人メドレー優勝・2010年日本選手権・第85回日本学生選手権100mバタフライ優勝)、貴田裕美(第65回国民体育大会400m自由形優勝)、内田美希(第78回日本高等学校選手権水泳競技大会50m自由形優勝・第65回国民体育大会50m・100m自由形優勝)、村上和基(第65回国民体育大会高飛込優勝・第86回日本学生選手権高飛込優勝)、志賀光明・星野翼(2010年日本学生選手権水球競技優勝)。

東北地方太平洋沖地震が、2011年(平成23年)3月11日14時46分、日本の太平洋三陸沖を震源として発生した。東日本大震災を引き起こし、東北から関東にかけての東日本一帯に甚大な被害をもたらした。特に津波の被害が甚大で関東地方にも大きな被害をもたらした。茨城県・千葉県の被害は大きく3月11日以降の競技会運営に大きな支障をもたらすこととなった。

## 2011(平成23年)

平成23年度第1回群馬県水泳連盟総会が新体制で実施される(4/10上毛会館)。蛭間利雄氏(県スポーツ協会特別功労者表彰)、喜多正義氏(日本水泳連盟有功賞)・沼田利根水泳協会(日本水泳連盟優良団体表彰)・木津智史氏(県スポーツ協会功労者表彰)らが受賞する。

3/11に起きた東北関東大震災の影響で北関東大会群馬県予選・年齢別長水路水泳大会が中止となる。その後も節電の関係でプールの営業時間短縮やプール使用時間制限等例年がないシーズンを迎えることとなる。特に茨城県・千葉県の被害は甚大で茨城県の場合、今シーズン及び来シーズンは50mプール公認大会が実施出来ない状態である。(北関東大会→茨城・関東春季→山梨大会中止)

第66回国民体育大会では天皇杯100点11位、皇后杯53点10位と残念ながら今年度も天皇杯8位内の成績を収めることは出来なかった。飛込については優勝者が一人も出ない大会となった。水球は決勝リーグに進出したものの全敗、順位決定戦で東京都に勝って7位となる。

第14回世界選手権水泳競技大会出場(内田翔・貴田裕美(競泳)・村上和基(飛込)・柳瀬彰明・志賀光明(水球))・ユニバーシアード水泳競技大会出場(内田翔・大塚一輝・福田智代(競泳)・村上和基(飛込)・柳瀬彰明・志賀光明(水球))、また第14回世界選手権水泳競技大会・ユニバーシアード水泳競技大会飛込選手団の指導者として野村孝路氏が参加した。



2011世界水泳出場選手・知事表敬訪問 群馬県水泳連盟

# 2009-2013

平成21年～平成25年

内田美希 (50 m自由形) 日本高校新記録樹立・(100 m自由形) 短水路日本高校新記録樹立、内田翔 (第26回ユニバーシアード200 m自由形・400 m自由形3位・800 mリレー2位)、貴田裕美 (第14回OWS世界選手権選手選考大会10km優勝) 福田智代 (第26回ユニバーシアード100 mバタフライ2位・400 mメドレーリレー3位・ジャパンオープン200 m個人メ優勝)、大塚一輝 (第26回ユニバーシアード200 m平泳ぎ3位)、内田美希 (第79回日本高等学校選手権水泳競技大会50 m自由形優勝(日本高校新)・第66回国民体育大会50 m少年女子A自由形優勝)、浮島直人 (第66回国民体育大会少年男子B100 mバタフライ優勝) 村上和基 (ジャパンオープン高飛込・男子シンクロナイズド優勝)、志賀光明・星野翼 (第26回ユニバーシアード水球競技5位)。

## 2012 (平成24年)

平成24年度第1回群馬県水泳連盟総会が実施される。(4/14上毛会館)

山田稔氏 (生涯スポーツ功労者表彰)、木津智史氏 (日本水泳連盟有功賞)・峰岸芙美子氏 (日本体育協会スポーツ指導者表彰)・渋川水泳協会 (日本水泳連盟優良団体表彰)・猿谷宝氏 (県スポーツ協会スポーツ功労者表彰)らが受賞する。

4月より県立敷島公園水泳場の指定管理者が昨年度までの緑地協会より(株)オリエンタルコンサルタントへ変わる。

ロンドンオリンピックの年、前回の北京オリンピックでは52年振りにオリンピック選手(内田翔)が本県より誕生した、今回のロンドンオリンピックでは「複数のオリンピック選手を」と意気込んで迎えた飛込競技の最終選考会で村上和基が残念ながら敗退、次に4/2～8に行われた競泳日本選手権(オリンピック選考会)でも前回のオリンピック選手内田翔が敗退、続く福田智代・大塚一輝も敗退と暗いムードの中、女子100 m自由形で内田美希が3位に入賞し400 mフリーリレーのメンバーとしてオリンピック出場が決定。その後6/9にポルトガルで行われたOWS世界最終予選会において貴田裕美がオリンピック代表選手に選考され「複数のオリンピック選手を」の夢を実現することが出来た。(内田翔・大塚一輝引退)二人のオリンピック選手を迎え前橋市アニバーサリーコート・ラシーネにて盛大に選手激励会が行われた。(6/17:PM4:00)

平成24年度関東高等学校水泳競技大会(第63回関東高等学校選手権水泳競技大会兼第80回日本高等学校選手権水泳競技大会関東地区予選会)が7/24～26までの3日間県立敷島公園水泳場にて開催される。初日・二日目とリレー種目にて自動審判装置の不具合が出て心配されたが、競技運営・宿泊・輸送・観覧席等特に問題もなく無事終了する。

第30回ロンドンオリンピックの開会式(7/27)、翌日、内田美希出場的女子400 mフリーリレーが行われ、予選を5位で通過、メダルの期待も掛かったが決勝では7位と残念な結果に終わってしまった。しかしながら、オリンピックでの7位入賞は立派である。

平成24年度群馬県水泳連盟第2回総会を開催し、来期の(25年度・26年度)任期改選にともない、新役員を選

出する。(楽々園)ジュニア委員長小茂田猛氏が辞任し山室護氏がジュニア委員長へ就任する。その他役員及び各委員長の変更なし。情報処理委員会(犬塚均委員長)及びマスターズ部会(五十嵐源一委員長)の発足が承認された。

第67回国民体育大会では天皇杯101.5点12位、皇后杯42.5点12位と残念ながら天皇杯8位内の成績を収めることは出来なかった。

飛込競技は村上和基の成年男子高飛込・板飛込準優勝、水球競技は予選トーナメント、三重県に1点差の12対11で勝ち準決勝リーグへ、準決勝リーグでは1勝2敗ながら得失点差でリーグ2位となり京都府と3位・4位順位決定戦へ、11対9の接戦を制し3位となる。

貴田裕美(第30回ロンドンオリンピック大会水泳競技マラソンスイミング13位・セントラルスポーツカップ2012東京マラソンスイミング優勝)、内田美希(第30回ロンドンオリンピック大会水泳競技競泳女子400 mリレー7位・ジャパンオープン2012女子50 m自由形優勝)日本高校新記録・第80回日本高等学校選手権水泳競技大会50 m・100 m自由形優勝・第67回国民体育大会50 m・100 m自由形優勝)、村上和基(2012ワールドカップ日本代表・第88回日本選手権飛込競技男子高飛込優勝)、志賀光明(第88回日本選手権水球競技優勝)、天田雄大(第52回全国中学校水泳競技大会競泳競技男子400 m個人メドレー優勝)、茂木慧太(第88回日本学生選手権水泳競技大会競泳男子800 mリレー優勝)。



平成24年度 (公財) 日本水泳連盟 関東地域会議  
2012年10月13日 群馬県水泳連盟



平成24年度 地域会議 (高崎)

## 2013 (平成25年)

群馬県水泳連盟平成24年度会計監査を行う(4/7)。平成25年度第1回群馬県水泳連盟総会が実施される(4/28楽々園)。今年度より情報処理委員会(犬塚均委員長)、マスターズ部会(五十嵐源一委員長)が新たに発足した。須藤文治氏(日本水泳連盟有功賞、県スポーツ協会功労者表彰)、館林水泳協会(日本水泳連盟優良団体表彰)が受賞する。

# 群馬県水泳連盟のあゆみ

第56回北関東水泳競技大会が県立敷島公園水泳場で開催される。(6/2)

第15回世界選手権水泳がスペイン(バルセロナ)で開催され本県より競泳競技へ内田美希(女子400mリレー7位)、OWS競技へ貴田裕美(25km8位・10km・団体)が出場した。第27回ユニバーシアード(ロシア・カザン)へは水球競技で志賀光明が出場した。

第69回国民体育大会(東京)では天皇杯92.5点12位、皇后杯54.5点10位と残念ながら天皇杯8位内の成績を収めることは出来なかった。飛込競技は近藤愛彩の成年女子高飛込7位1種目のみの入賞に留まり、競泳に於いても上位入賞者は内田美希(成年女子50m自由形優勝)・大和田明日香(少年女子B200m平泳ぎ2位)のみ、飛込、競泳共に今後の競技力の向上が望まれる。

水球競技は予選トーナメント、石川県に1点差の11対10で勝ち準決勝リーグへ、準決勝リーグをブロック1位で通過(福岡・三重・東京すべて1点差)し決勝へ、決勝では埼玉県に12対14で負け準優勝。

12/17~22日まで本県担当で北関東ジュニアブロック合宿が行われた。(指導者9人・選手42名)

12/24~1/6までマレーシア(シャ・アラーム)にて県水連海外派遣事業海外合宿が行われた。(指導者8人選手21名)体調不良を訴える選手が続出、厳しい環境での海外合宿となる、マレーシア合宿は今回限りの実施となる。



平成25年 マレーシア合宿



平成25年 関東ブロック合宿(群馬県)

貴田裕美(第15回世界水泳選手権大会OWS競技25km8位)、内田美希(第15回世界水泳選手権大会競泳競技

400mリレー7位・ジャパンオープン2013女子50m自由形優勝・第68回国民体育大会競泳成年女子50m自由形優勝・第89回日本学生選手権競技大会競泳競技50m・100m優勝)、志賀光明・廣江隼斗志(第89回日本学生選手権競技大会水球競技優勝・第89回日本選手権水球競技優勝)。

## 2014(平成26年)

平成25年度会計監査を行う(4/6)。平成26年度第1回群馬県水泳連盟総会が実施される(4/26楽々園)。山田稔氏(群馬県功労者表彰)、田中信宏氏(日本水泳連盟功労賞)、永山昌昭氏(日本水泳連盟有功賞)、久保田朗氏(県スポーツ協会スポーツ功労者表彰)・安中水泳協会(日本水泳連盟優良団体表彰)、代田玲子氏(日本体育協会公認スポーツ指導者表彰)らが受賞する。

群馬県担当で関東春季水球競技大会が県立敷島公園水泳場で開催される。(6/14~6/15)平成26年度日本水泳連盟関東普及委員長会議が伊香保にて開催される。(12/20~12/21)

第17回アジア大会が韓国(仁川)で開催され本県より競泳競技内田美希、水球競技志賀光明・柳瀬彰良・志賀美沙が出場、パンパシフィック水泳競技会競泳競技内田美希、OWS競技貴田裕美が出場。ジュニアパンパシフィック水泳競技会競泳競技谷口優羅出場。第2回ユースオリンピック天田雄大出場、水球男子世界ユース選手権清水優樹、樺澤卓出場。

第69回国民体育大会(長崎)では天皇杯80点10位、皇后杯49点10位と残念ながら天皇杯8位内の成績を収めることは出来なかった。飛込競技は近藤愛彩の成年女子高飛(4位)1種目のみの入賞に留まった。競泳競技では上位入賞者は福田智代成年女子200m個人メドレー優勝・100mバタフライ2位、谷口憂羅少年女子A400m個人メドレー2位、稲澤ひなこ少年女子B50m自由形3位の4種目となった。水球競技は3位・4位決定戦にて石川県に16対8で負けてしまい4位と残念ながら上位入賞を逃した。

内田美希日本学生選手権水泳大会女子50m自由形日本新記録樹立。

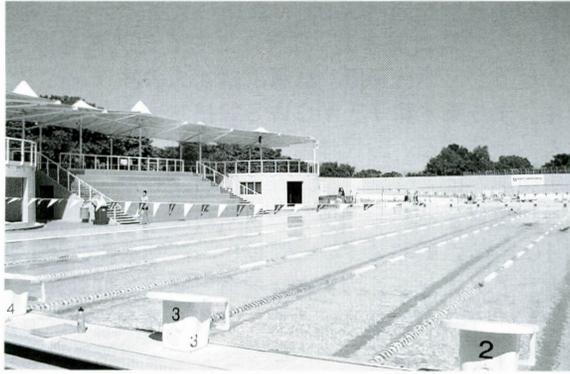
オーストラリア(ゴールドコースト)にて県水連海外派遣事業海外合宿が行われた。(12/25~1/6、指導者6人選手16名)。

平成26年度第2回群馬県水泳連盟総会を開催し、来期の(27年度・28年度)任期改選にともない、新役員を選出する(3/22)。副会長山田稔氏・顧問五十嵐源一氏・監事古瀬治夫氏・参与岡田仁氏退任、副会長田中信宏氏(理事長兼務)・顧問山田稔氏・監事永山昌昭・参与古瀬治夫氏就任、須藤聡氏全国委員長就任に伴い県高体連委員長へ藤本剛氏(高商教員)が就任。規約一部改正(委員会副委員長の数2名→3名へ)。

内田美希(第17回アジア大会水泳競技400mメドレーリレー優勝・400mリレー・50m自由形2位100m自由形3位、ジャパンオープン2014、50m・100m自由形・50mバタフライ優勝、第90回日本学生選手権競技大会競

# 2013-2015 平成25年～平成27年

泳競技 50 m・100 m自由形優勝、50 m自由形日本新記録樹立)、福田智代(第90回日本選手権水泳競技大会50 mバタフライ優勝・第69回国民体育大会競泳競技成年女子200 m個人メドレー優勝)、高橋洸輝(第54回全国中学校水泳競技大会1500 m優勝)、柳瀬彰明・志賀光明(第17回アジア大会水泳競技男子水球準優勝)、志賀美沙第(第17回アジア大会水泳競技女子水球準優勝)。



平成26年 オーストラリア合宿



平成26年 アジア大会成績報告 知事表敬訪問

## 2015 (平成27年)

平成26年度会計監査を行う(4/5)。平成27年度県水泳連盟第1回総会を新役員にて楽々園で実施する(5/16)。

県水連70周年事業実行委員会の発足等承認される。第50回関東地域春季水泳競技大会が県立敷島公園プールで開催される。(4/25～26)この大会は第50回群馬開催を最後に長い歴史に幕を下ろした。第1回関東水泳連絡協議会を前橋市マーキュリーホテルで行う(4/25)。第58回北関東水泳競技大会(栃木県5/31)が開催され、前々より開催期日及び大会内容等が検討されてきたが、各県代表者会

議にて開催中止が決定され、関東春季水泳大会同様歴史ある大会がまたひとつ幕を下ろした。来年度からは今までと同じ競技会名で、大会期日及び競技会内容を変更し栃木県開催固定で実施する事を決定。第65回三県対抗水泳競技大会開催(群馬県10/25)男女総合2位・男子総合2位・女子総合2位。



平成27年度 第50回関東地域春季水泳競技大会 懇親会  
4月25～26日



平成27年 三県大会代表者会議

第16回ディスタンス大会終了後本県で最初のOWS大会実施(3km)参加者は男子6名、女子4名、男子高橋洸輝、女子貴田裕美が優勝(1/24)。第16回世界水泳大会がロシア(カザン)で開催され、本県より内田美希(競泳)、柳瀬彰明・志賀光明(水球)・貴田裕美、コーチ青木和子氏(OWS)が出場。ユニバーシアード競技大会水球競技へ長野大地、コーチ本宮万記弘氏が出場。日本水球男子、アジア選手権で優勝(柳瀬彰明・志賀光明)。32年ぶりにリオデジャネイロオリンピック出場権獲得(平成28年3月柳瀬彰明・志賀光明リオデジャネイロオリンピック出場決定)、第70回国民体育大会(和歌山)天皇杯49点15位、皇后杯37点13位、平成に入り第52回国体(大阪府)天皇杯38点に次ぐ悪い結果となる。飛込得点0点(少年男子1名の参加)、水球については平成になって初めて関東ブロック敗退、本大会へ不出場、競泳の上位入賞者は内田美希成年50 M自由形優勝・関口真穂100 M背泳ぎ2位、赤坂健太200 M背泳ぎ3位、成年女子200 Mフリーリレー2位と少なく、競泳・水球・飛込共に強化策の検討が急務である。12月25日～1月5日オーストラリア(ゴールドコースト)にて県水連海外派遣事業海外合宿実施。(指導者5人・選手16名・自炊)、第41回上毛スポーツ賞柳瀬彰明・志賀光明(水

# 群馬県水泳連盟のあゆみ

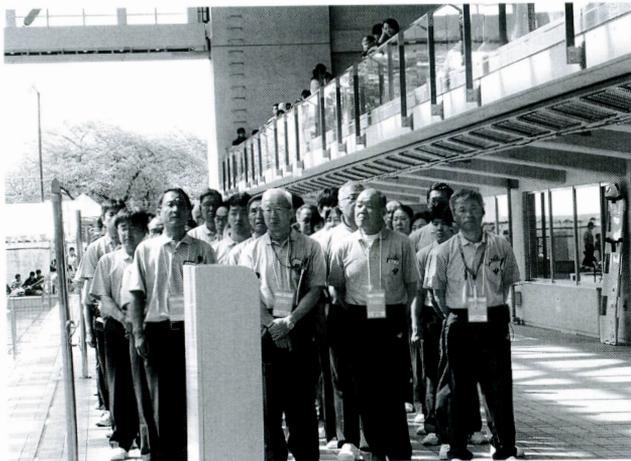
## 2015-2016 平成27年～平成28年

球)が受賞。久保田朗氏(日本水泳連盟有功賞)、永山昌昭氏(県スポーツ協会スポーツ功労者表彰)・富岡水泳協会(日本水泳連盟優良団体表彰)受賞する。

内田美希(第91日本選手権50M(日本新記録樹立)・100M自由形優勝・ジャパンオープン2015、50M自由形優勝・第70回国民体育大会競泳成年女子50M自由形優勝・第91回日本学生選手権競技大会競泳競技50M(日本新記録樹立)・100M自由形優勝)、福田智代(第91回日本選手権水泳競技大会50Mバタフライ2位・100Mバタフライ3位)、諸貫瑛美(第91日本選手権50M背泳ぎ3位・ジャパンオープン2015、50M背泳ぎ2位)、関口真穂(全国中学校水泳大会200M背泳ぎ3位)。



平成27年 春季関東(群馬)



平成27年 春季関東(群馬)



2015 紀の国 わかやま国体にて(於:秋葉山公園県民水泳場)成年女子200フリーリレー準優勝(左から岡野、福田、諸貫、内田)

### 2016(平成28年)

群馬県水泳連盟平成27年度会計監査を行う(4/2)。平成28年度群馬県水泳連盟第1回総会を楽々園で実施する(5/8)。OWS委員会の発足が承認され初代委員長に青木和子氏就任。日本選手権(オリンピック選考会)100M自由形にて内田美希日本記録を樹立し優勝、水球の2人に続きリオデジャネイロオリンピック選手に決定する(4月)。内田美希知事表敬訪問(5/26)、貴田裕美リオデジャネイロオリンピック最終選考会(6月)にて5位入賞を果たし、オリンピック出場権獲得、群馬より4人のオリンピック選手誕生。また青木和子氏がOWS競技コーチとして出場することも決定する。国民体育大会関東ブロック大会(来年度群馬開催)ヒアリング(6/28)リオデジャネイロオリンピック出場選手激励会(ラシーネ新前橋(6/29)を実施・出席104人)。昭和48年に開設し、本県水泳連盟強化の拠点として、また多くの名選手を育ててきた群馬スイミングスクールが6月で閉校となる、群馬スイミングスクール惜別イベントが開催される(6/25)。田中信宏氏群馬県総合表彰受賞、群馬県高等学校選手権水泳競技大会水球競技優勝杯を群馬県水泳連盟より寄贈する。



開設当時の群馬スイミングスクール



寄贈した群馬県高等学校選手権水泳競技大会水球競技の優勝杯